

価値創造のプロセス

社会の課題に対して、CSR経営を通じて社会責任を果たし、理想とするビジョン・グループ理念の実現を目指します。

社会の課題

- ▶ 建造物の老朽化
- ▶ 災害の激甚化、頻発化
- ▶ 関西の成長に向けた、ネットワーク整備への期待
- ▶ 高速道路における交通安全上の課題の顕在化
- ▶ 急速なデジタル社会の進展
- ▶ 大阪・関西万博開催の決定
- ▶ SDGs達成への貢献や働き方改革
- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策

CSR経営の推進

地域・社会の持続的発展への貢献
阪神高速グループの成長

社会貢献活動
保有する人的・物的資源やノウハウを生かした取り組み

事業活動の遂行
高速道路事業の深化、関連事業のさらなる展開

高速道路事業 | 高速道路関連事業

企業存続の基礎活動
コンプライアンス、リスクマネジメント、情報セキュリティなど

取引先 | 株主 | グループ社員

高速道路ご利用のお客さま | 地域・社会 | 投資家

「阪神高速グループCSR基本方針」P.13

中期経営計画 2020～2022
達成状況については P.17～18

経営資源 (非財務資源・財務資源)

阪神高速グループビジョン2030

2030年のありたい姿 (提供価値)

阪神高速が掲げる、6つの理想とするビジョン

- 1** 最高の安全と安心を提供する阪神高速
- 2** もっと便利で快適なドライバライフを実現する阪神高速
- 3** 世界水準の卓越した都市高速道路技術で発展する阪神高速
- 4** お客さまや社会に満足をお届けする多彩なビジネスを展開する阪神高速
- 5** 関西の発展に貢献し、地域・社会から愛され信頼される阪神高速
- 6** 経営基盤を確立し、グループ社員がやりがいを実感できる阪神高速

阪神高速グループでは、この6つの「ありたい姿」をCSRの重要テーマ(マテリアリティ)としています。

事業を通じたSDGs達成への貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

グループ理念の実現

関西の持続的な発展に貢献